



あいさつする間宮幹雄代表取締役社長

**第127回ユーザー技術教室(東部地区)開催  
旭サナック㈱**

旭サナック㈱(〒488-8688 愛知県尾張旭市旭前町5050 ☎(0561)53-1213)は、9月22日(金)、秋葉原コンベンションホール(東京都千代田区)にて、東部地区における第127回ユーザー技術教室(UTS)を開催した。

冒頭のあいさつに立った間宮幹雄代表取締役社長は、「世界情勢は不安定な状態が続いているが、自動車や建機分野においては堅調に推移している。今年は、当社創業75周年、塗装機械事業設立60周年の節目を迎える。このUTSの場がユーザーの皆様にとって有意義なものとなるよう、これからも情報発信を続けていきたい」と述べ、UTS来場への御礼で締めくくった。

当日、100名の聴講者で満席となった今回のUTSは、「ベトナムへの工場進出と新たな取組」をテーマに二つの講演が行われた。



戸崎産業㈱の戸崎寿人氏による講演



右からヤマトプロテック㈱南 嘉昭氏、松永 剛氏

はじめに、戸崎産業㈱の戸崎寿人氏による「ベトナムでの粉体塗装と人材教育」と題した講演があり、ベトナムに工場を設立するに至った経緯と現地の作業者に合った塗装方法や塗装ガンの選択などについて、経験則から日本式を適用せずに現地のやり方に合わせて検討していくことの提案やベトナムの情勢や現地の人々の気質を説明した。

次に、ヤマトプロテック㈱の南 嘉昭氏および、松永 剛氏が登壇し、「消火システムへの塗装と塗装現場に最適な消化システムについて」の内容で、消火器の製造・販売で知られる同社のベトナム進出と現状のほか、多条件環境下に長年にわたりさらされる貯蔵容器内の消火薬剤を守るために要求される塗料品質について解説。また、可燃物質が含まれる塗料等を取り扱う塗装現場での火災に備え、迅速かつ再燃させない消火システムの提案があった。

続いて、旭サナック㈱の加藤瑞樹氏より、好評のEc\*Corona-Xシリーズのハンドガン・自動ガンおよび粉体高速色替え塗装システムについて紹介された。



海外での取組紹介がなされ有意義な講演となった